

令和7年度第1回旭川市保健所運営協議会 会議録

日 時	令和7年8月29日（金）午後6時30分～午後7時30分				
場 所	旭川市役所 総合庁舎7階 大会議室A				
出席者	委員 計13名	滝山会長 近藤委員 谷委員 森委員	荒委員 西條委員 長尾委員	五十嵐委員 嵯城委員 中村委員	大里委員 相馬委員 藤田委員
	事務局 計19名	山口健康保健部長 渡辺健康保健部次長 中屋保健総務課長 高橋保健予防課こころと難病支援担当課長 俵動物愛護センター所長 山本健康推進課主幹 渡部保健予防課課長補佐 秋場健康推進課主査 國本保健総務課課長補佐 山田保健総務課主査 鈴木健康保健部保健衛生対策官 上林健康保健部次長 阿保保健予防課長 尾崎食肉衛生検査所長 村椿医務薬務課主幹 上出保健予防課感染症対策係長 熊崎健康推進課主査 齊藤保健総務課課長補佐 森田保健総務課主査			
会議の公開・ 非公開	公 開				
傍 聴 者	な し				
会議資料	資料1：第2次スマートウエルネスあさひかわプラン骨子（案）について 資料2：旭川市がん検診における胃内視鏡検査導入について 資料3：旭川市新型インフルエンザ等対策行動計画骨子案 資料4：旭川市健康保健部組織改正について 当日配付 ・ASAHIKAWA健幸フェスタチラシ ・あさひかわ健康まつりチラシ				

議 事	発 言 趣 旨 等
1 開 会 2 健康保健部長挨拶 3 会長挨拶 4 議 事	
(1)協議事項	
・協議事項ア	第2次スマートウエルネスあさひかわプランの策定について
事務局	資料1に基づき説明。
	[御意見・御質問及び回答]
委員	評価指標の達成状況についてですが、3項目の目標値に対して全て未達成という結果となりました。この目標値は、具体的にどのような基準をもとに設定されたのでしょうか。
事務局	目標値の設定についてですが、基準値が50%を超えている項目については、1年間で1%の上昇を目指すという方針で目標値を設定しました。一方、基準値が50%を超えていない項目については、より高い値の達成を目指す形で目標を設定しました。しかし、実際には目標値には届かない結果となった状況です。
委員	スタート時点で設定されたこの目標値についてですが、それは達成しやすい現実的な目標だったのでしょうか。それとも、少し無理がある、やや高めに設定された目標値だったのでしょうか。
事務局	市民アンケートについてですが、ちょうどこの期間に新型コロナウイルスの流行が重なったこともあり、一時的に数値が下がるなど、変動が見られたため、先を予測するのが難しい状況でした。ただし、目標値に関しては、達成の可否という点よりも、この数値を目指すという意図のもとで設定したため、若干高めの目標値となったと考えています。
委員	次期プランについても、この3項目については同様に目標値を設ける考えですか。
事務局	次期プランについても、同様に目標値を設定する方針です。ただし、今回の取組では目標値を達成できなかった項目もあったため、それを踏まえた上で、次期プランの目標値をどのように設定していくべきかについて、懇談会で皆さまから御意見をいただきたいと考えております。
委員	平均歩数については昨年度に比べて増加傾向にありますが、この増加した要因等は分析しているのでしょうか。
事務局	平均歩数についてですが、令和6年4月に健康アプリをリリースしたことが一つの取組として挙げられるかと思います。現在、その利用者数は1万4,000人を超えており、利用者の増加に伴いアプリの活用や機能の変更・改善などを多数実施してきました。そ

	<p>の結果、少しずつ成果が現れてきているのではないかと考えています。</p> <p>令和6年4月から6月はアプリをリリースして間もない状況でしたが、現在ではリリースから1年が経過し、具体的な数値も出始めている状況です。</p>
委員	<p>共通方針の三つ目である「デジタル技術の活用」という項目に、健康無関心層への働きかけについて記載されていますが、個人的にも職場の労務管理を担当している立場から、この対象層への具体的なアプローチ方法について関心を持っています。特に、健康無関心層への働きかけとして、実際にはどのような取組が考えられているのか、現時点で検討されている内容を教えていただくと幸いです。</p>
事務局	<p>若い世代の方々は、どうしてもその時々状況を優先しがちなため、病気やケガなどについて自分ごととして捉えにくい部分があるのではと思います。そのため、生活習慣や運動のできる場所に関する情報発信については、従来の媒体に加え、デジタルツールの活用を進めることが有効ではないかと考えております。また、企業には若い従業員が多数いることから、そうした方々への働きかけにおいて、企業と連携してできる取組があれば、それを検討する価値があるのではないのでしょうか。</p> <p>今後、このような場で御意見をいただきながら、より良いアイデアを伺えることを期待しています。現在の検討段階では、特にデジタルツールの活用が中心となる可能性が高いと考えています。</p>
委員	<p>市内の各企業も、恐らく同じような課題や悩みを抱え、また似たような考えを持っているのではないかと思います。そのため、ぜひ積極的に各企業への働きかけを進めていただきたいと思います。</p>
委員	<p>このような計画を立てる際には、努力目標や具体的な目標値を設定することが重要です。現在、利用者数は1万4,000人に達しており、さまざまな環境条件などの影響も考慮する必要があります。そうした状況を踏まえつつ、目標を明確に設定し、その達成に向けて取り組んでいただきたいと思います。</p>
・協議事項イ	<b>胃がん検診の見直しについて</b>
事務局	資料2に基づき説明。
	<b>[御意見・御質問及び回答]</b>
委員	<p>検診の見直しについては、国の指針に準じた内容で、市の税金を投入した適切な変更であることが理解できました。しかし、実際に実施する際、市の検診として行う場合における内視鏡検査の対応可能なキャパシティは、どの程度を想定しているのでしょうか</p>

	<p>か。また、自己負担額については、具体的にいくりに設定する予定なのか、すでに決まっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>キャパシティについてですが、昨年度の調査によると、1,800から2,000件程度の対応が可能であることが判明しています。参加する病院数が増えれば、さらに対応可能な件数が増えると考えられます。現時点で参加できそうだと回答している病院は約9施設あり、これを基に試算すると、年間200日稼働で十分なキャパシティは確保できていると考えます。</p> <p>しかし、参加可能だと回答した病院であっても、市の検診に対応するかどうかについては、まだ検討段階のところがあるのが現状です。特に、企業などで既に事業として胃の内視鏡検査を実施している病院では、慎重な姿勢を取っている場合もあります。このため、実際にどれくらいの病院が正式に参加を表明するかについては、今後改めて調査を行う必要があります。</p> <p>次に自己負担額についてですが、旭川市においてはまだ具体的な決定事項がありません。ただし、他市町村の状況を参考にすると、札幌では自己負担額が約3,500円となっており、他の町ではおおむね3,000円程度が標準的な水準です。このため、自己負担額についてはそのあたりを目安として検討するのが妥当であると考えています。</p>
・協議事項ウ	<b>新型インフルエンザ等対策行動計画の策定について</b>
事務局	資料3に基づき説明。
	<b>[御意見・御質問及び回答]</b>
委員	<p>新型コロナウイルス感染拡大時、成田空港の検疫所へ応援に行った経験があります。その際、豪華客船に関するコロナ対策を行う一方で、海外に遊びに出かけた人々に対する水際対策を実施しました。それらの方々が帰国後にPCR検査を受け、ホテルでの待機をお願いし、その誘導などを行いました。しかし、ホテルから一歩も出ないようお願いしても、指示に従わない人が非常に多くいました。また、成田空港からホテルまで移動するバスについても、「密ではないか」と文句を言う人がいるなど、現場は非常に困難な状況でした。</p> <p>この経験をもとに、感染症が発生した際に市民に協力をいただくため、事前に適切な情報を共有し理解を深めておく必要性を強く感じました。このことを新型コロナウイルス対応を通じて学んだ次第ですので、ここで改めて共有させていただきます。</p>
委員	<p>この旭川においても、早期からPCR検査が実施可能だったことは非常に重要であったと感じています。検査体制を維持されることですが、今後もぜひこの体制を継続していただきたいと思</p>

	<p>ます。また、旭川の検査体制が道立衛生研究所との連携によって確保されるよう、引き続き努力をお願いしたいです。</p>
委員	<p>新型コロナウイルスのような感染症が、今後いつ発生するか分かりません。その際に最も重要なのは、基本的な対策をしっかりと守ることだと思います。例えば、「3密」を避けることや、症状がある場合は無理に職場に行かずに自宅で待機することなど、一般的な行動が最優先です。</p> <p>ワクチンに関して言えば、ワクチンがなければ接種を行うこともできません。今回の新型コロナウイルスに関しては、アメリカで製造されたファイザーやモデルナのワクチンが日本に届くまで多少時間がかかりましたが、届いてからはスムーズに接種が進められました。次の感染症に備えるためには、平時からワクチンを開発・準備しておく取組が必要ですが、現時点ではそこまで進んでいないのが現状です。</p> <p>今後、新たな感染症が流行した場合には、少なくともマスクの着用や「3密」を避けること、そして手洗いの徹底などを、市民の常識として定着させるべきだと考えます。また、外出禁止や小中学校の学級閉鎖などの対策も必要になることがあります。そのような経験を今後に活かし、適切に対応できる体制を整えていくことが求められると思います。</p>
(2) 報告事項	
・ 報告事項ア	<b>旭川市健康保健部の組織改正について</b>
事務局	資料4に基づき説明。
	[御意見・御質問及び回答]
	意見・質問等なし
(3) その他	
事務局	当日配付資料「ASAHIKAWA健幸フェスタ」及び「あさひかわ健康まつり」のチラシについて説明